遊僊窟春雨冊子十七篇

川柳花國貞畫　綿耕生梓

へ13
3725
10

春雨ざうし

外題曲亥國史

上

門へ13
3-25
10

梅仙堂十七屋ん上

麦面ぎらし

緑亭川柳作
一陽齋豊國画

山口屋ん

徒然草雅量の話ふ芋喰栗らひ大根武者い輕誣め奇怪美談なるもの。その大根と假用しくこのらひ趣向とりこのわと芳澤あやめ乃大根ン漬昔ひと誉らも。其塩梅と一夜漬つけて山さい喰せ物押と強らもの死交ら。彼大根ら仕やうりゅく。郵せい辛く煮て甘く梅ょ染ッてもいとも多人の心ら是ふ仰く。用方にて種々變り七情五労よかりまりく。善惡邪正が押史の道具禮儀三百威儀三千直ゑ吏のこ著共。教ら欠の種ゑ〻詮ゑく噓八百と綴とも幼児と諭ぶ草紙の大意共眼ゑこのざむく心ぐ贅せぐ只春あそぐその調度とそるのこ

安政巳未春

緑亭川柳誌

山あのこ
ねの
春乃
ゝぶ
わあと
いそ春
かゝるあ
わかる
ゝ
ゝ

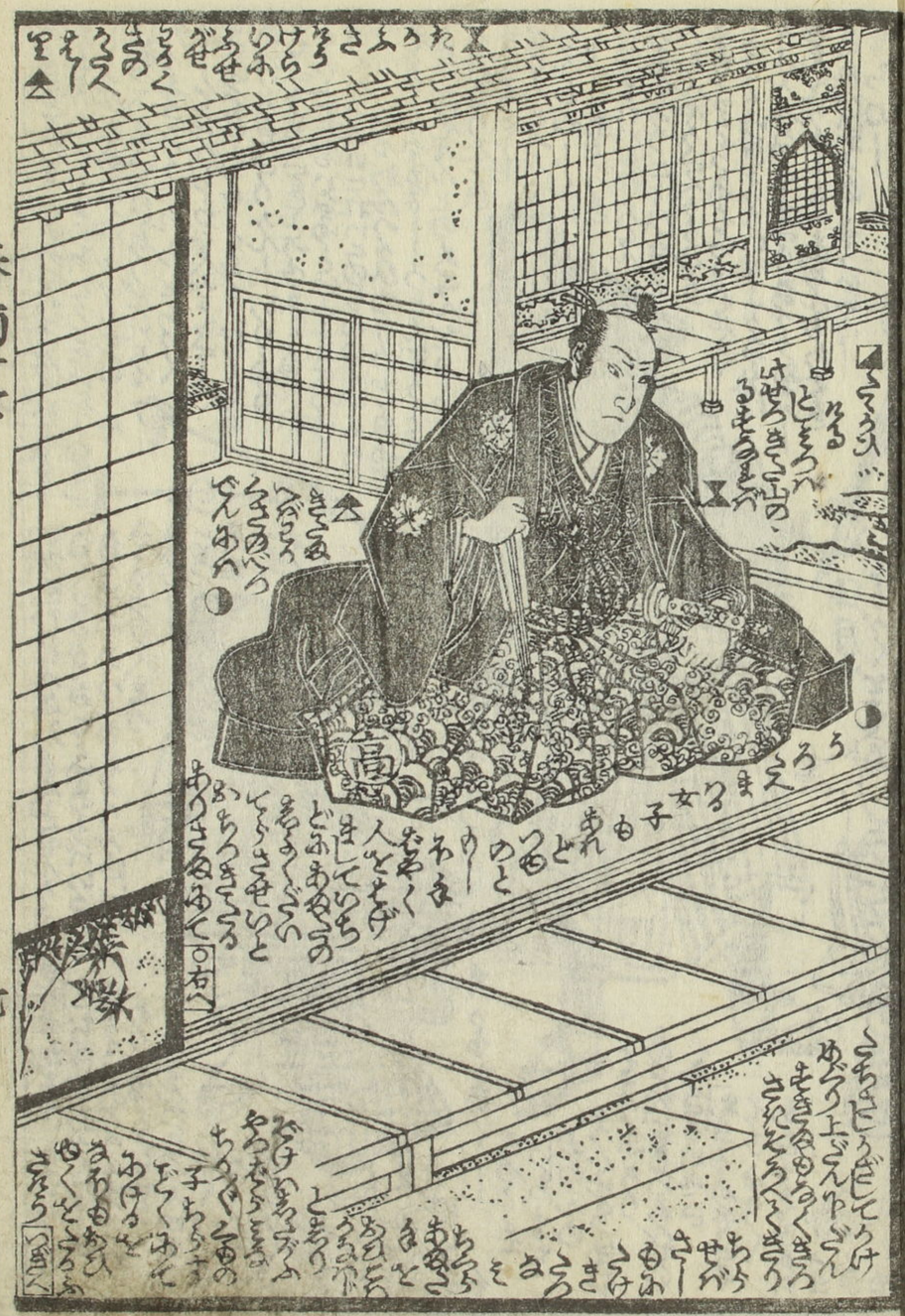
春日井七

春日井七

なむ大とんろん
ほうりたまへ
つくりせうあく
のんとうの
さもたるの
ふろふき
大とんとうり
きうりみそ
あろたひい
おやのめと
ゆ
あなま　京伝作ゆり
とものり　芳沢あやめ

延享二丑年の顔見世市村座へ芳沢あやめ下り大根漬乃狂言評判よく其時の錦繪一枚藏寸髮ゐ縮写〜〜むかしの〜のさゐ戯〜〜ら者む是役者繪の始まり今〜百五十年前

二
若


高

大
根

ごんざ
時
村

万延三 壬酉年 新鐫藏版目録

遊仙皆春両艸帝 十八編 亭川柳作
十九編 一壽齋國貞画

田舍織糸線狹衣 五編 仝
六編 同 画

政談國盡 初編 仝 作
二編 一雄齋國輝画

日宴更科譚 二編 松園梅彦作
三編 一勇齋國芳画

天神一代記圖會 中本一冊 柳下亭種員著
一勇齋國芳画

容色仙代萩 三編 筆庵英寅作
一雄齋國輝画

東都書房 馬喰町弐丁目 錦耕堂藏板

豊國画
川柳作
下

もうせんと美さうつし

緑亭川柳作

一陽齋豊國画

十七編下

錦耕堂板

女中

一人の

王

國貞画　川柳作

藏版新刊珍奇雜書略目錄

陽太郎後世譚 九編 十編 西馬作 貞秀画

俠像水滸 俠銘鑑 三編 四編 西馬作 國輝画

岸柳四魔談 四編 五編 同作 國輝画

伊賀越仇討 樂亭西馬作 一鶯齋國周画

勧善懲悪 乘合噺 七編 八編 柳下亭種員作 一壽齋國貞画

詞花萱草紙 初編 二編 墨川亭雪麿作 一雄齋國輝画

江戸鹿子紫草紙 二編 三編 梅彦作 豊国画

象頭山多宮日記 中本一冊 樂亭譜 國輝画

今様八犬傳 七編 八編 春水作 國芳画

書物地本繪草紙問屋 東都馬喰町二丁目角 山口屋藤兵衛

十八編上
錦耕堂
秀梓

拾遺仙醫十八編 上集

川柳作
國貞画

錦耕堂版

人眼有と我自見へまぢ鏡をの〻是を照し智有と自ら心をのらむ支あらむ此故ゑ道を求て是を正しくも稗史らゆと言ど兒童の教くゑ成て鏡ともあり道ゆゑ成てよゑらざるひるべおよゑ幸ゑゆゑ春雨十七編ゑ成さうち捨んゑ井と板元山口あるべくむ我短才不学ゑして業ハ市ふ魚鱗ぐ机上ゑふ柳葉嵩をす暇を得ぢ作ゑど思もよゑぢ辞せどゑ許さぢ干戈の中ゆゑ詩歌せ一人もあり多用の中みて書てこそ面白しと乞て止ぢ十八編を書て渡しぬ銀の替り鉛ゑれど幼年ゑ勧善懲悪をもしめんこの実意ゑり魚を放生して福を得んと思ふよりハまちるゑべし

萬延二辛酉初春

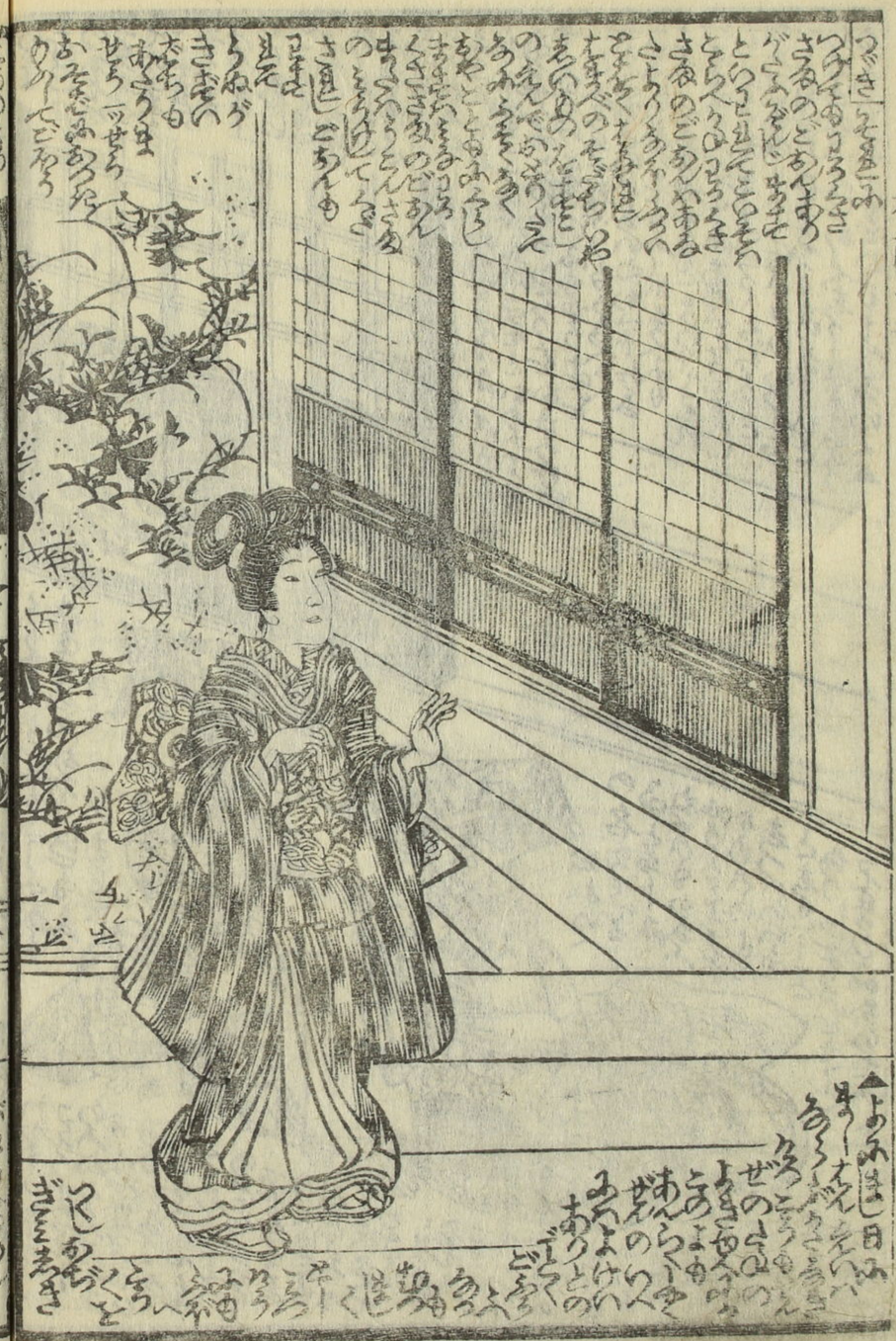
六代目川柳記

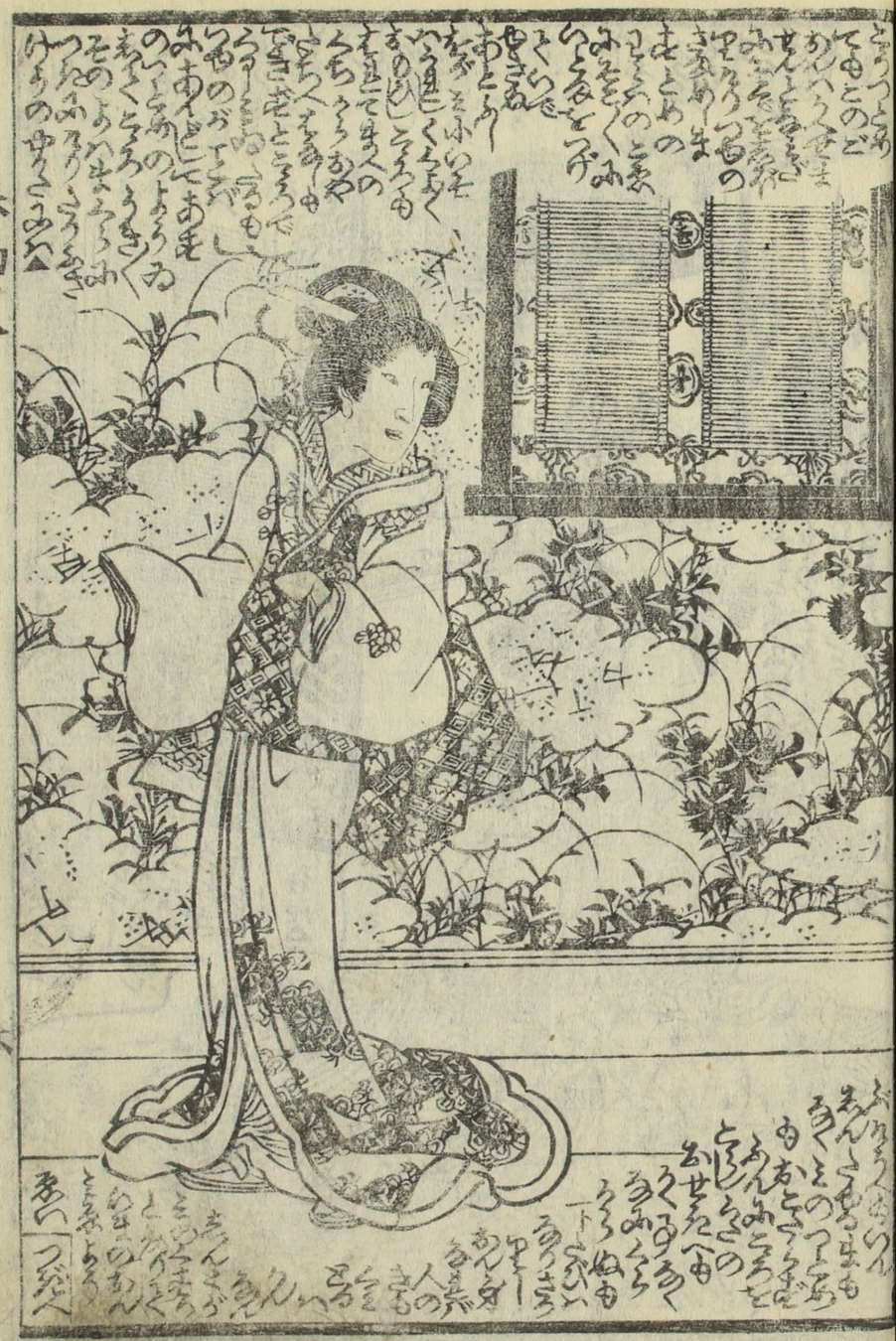
春

殘

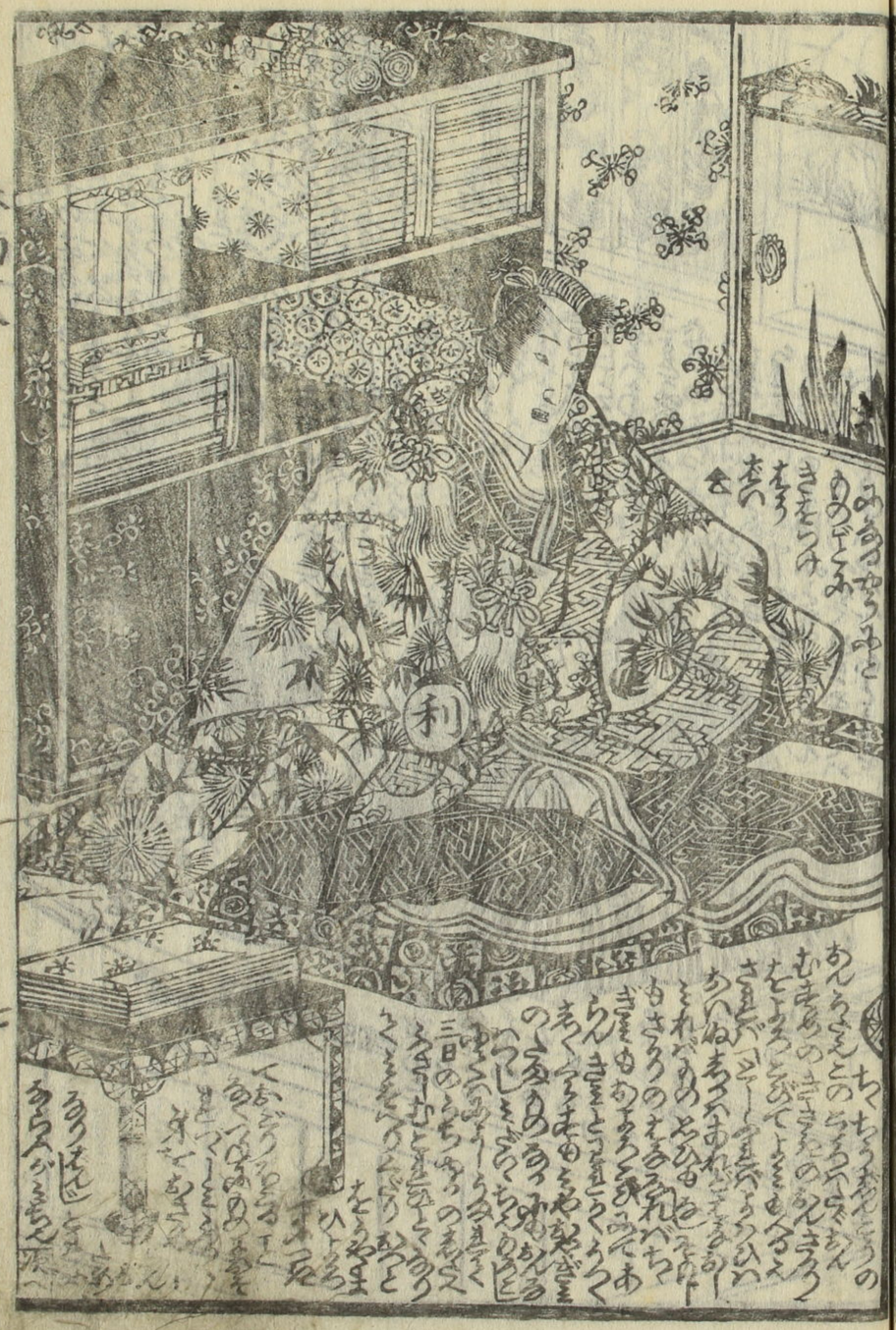
春

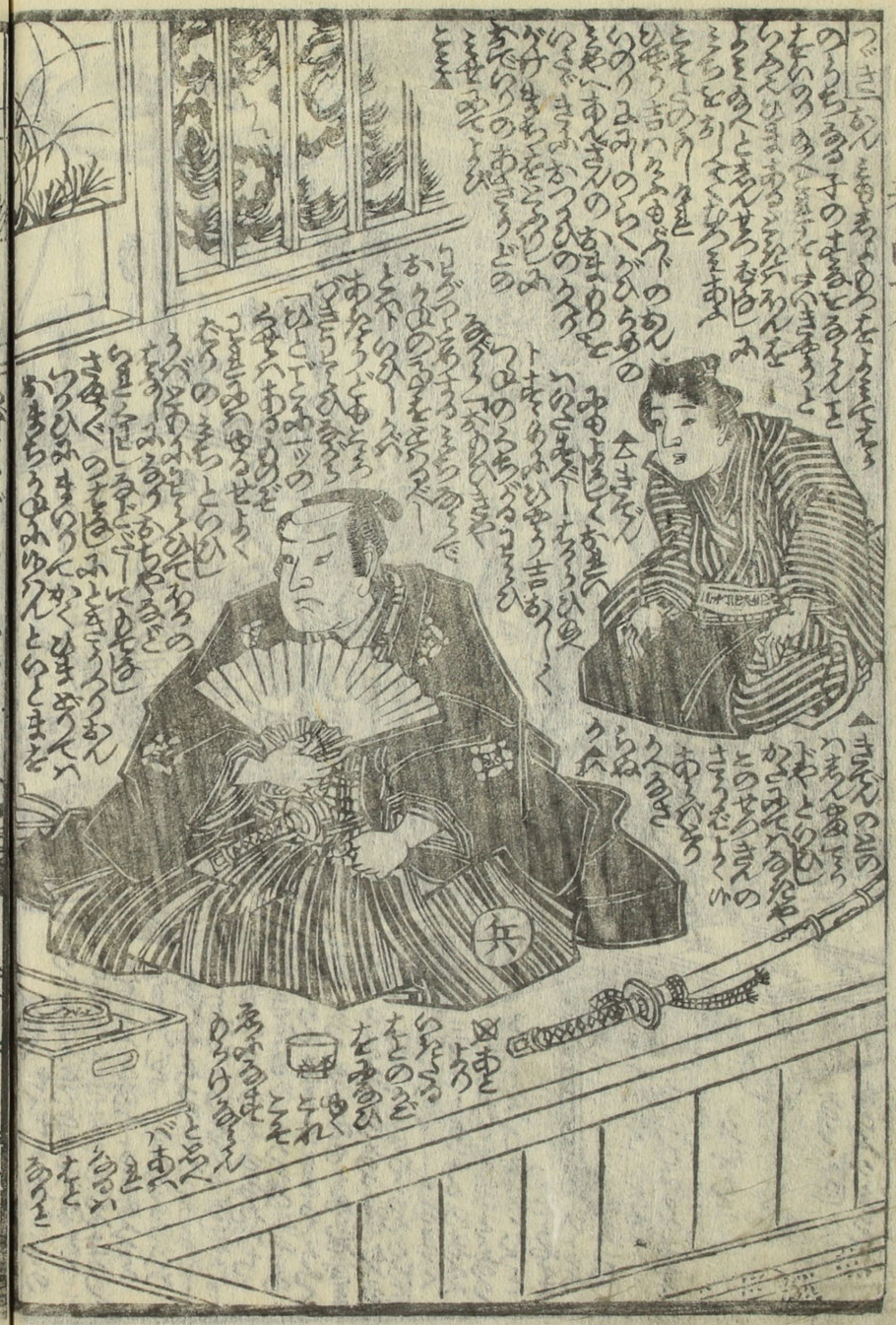
春



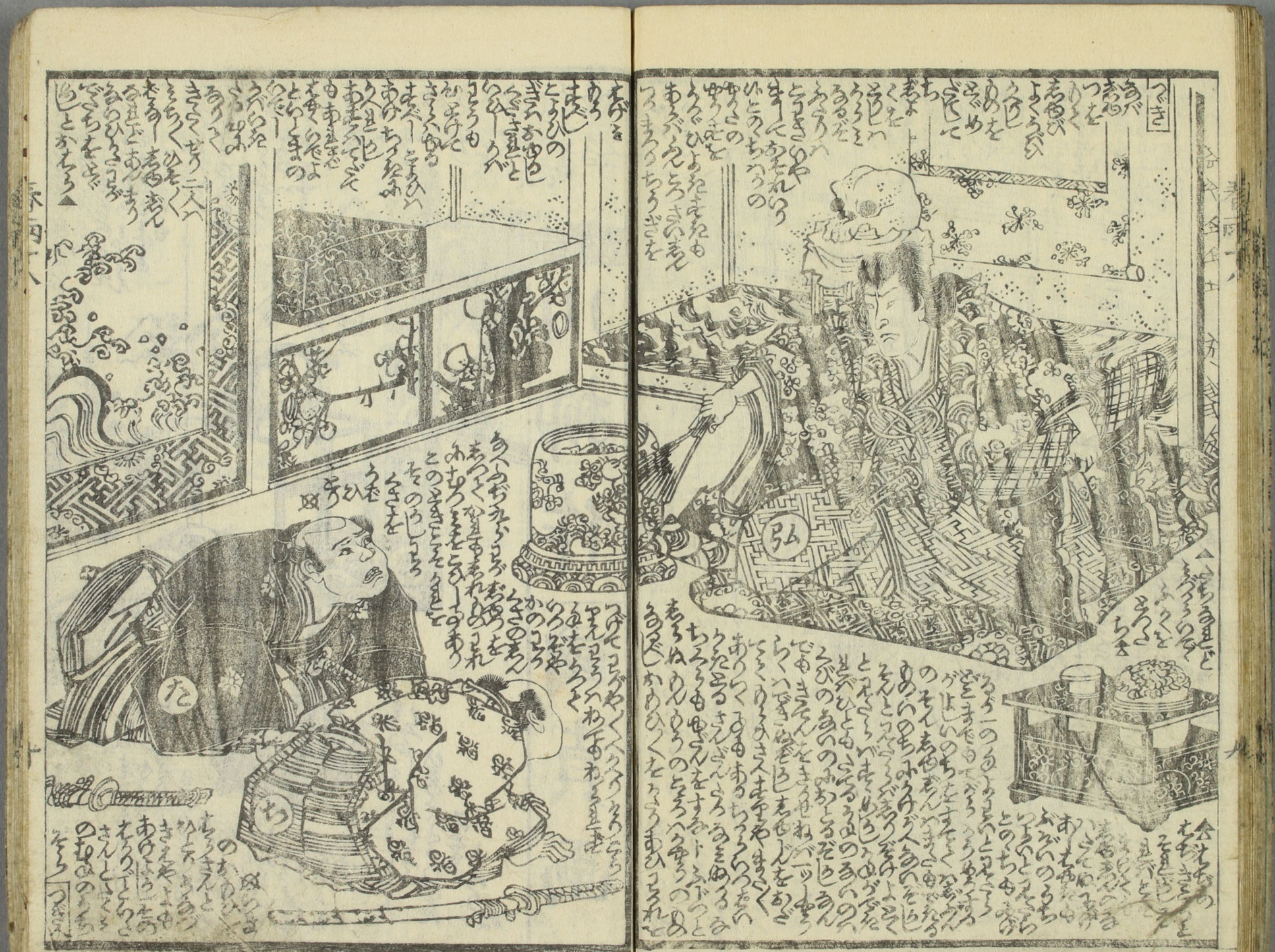


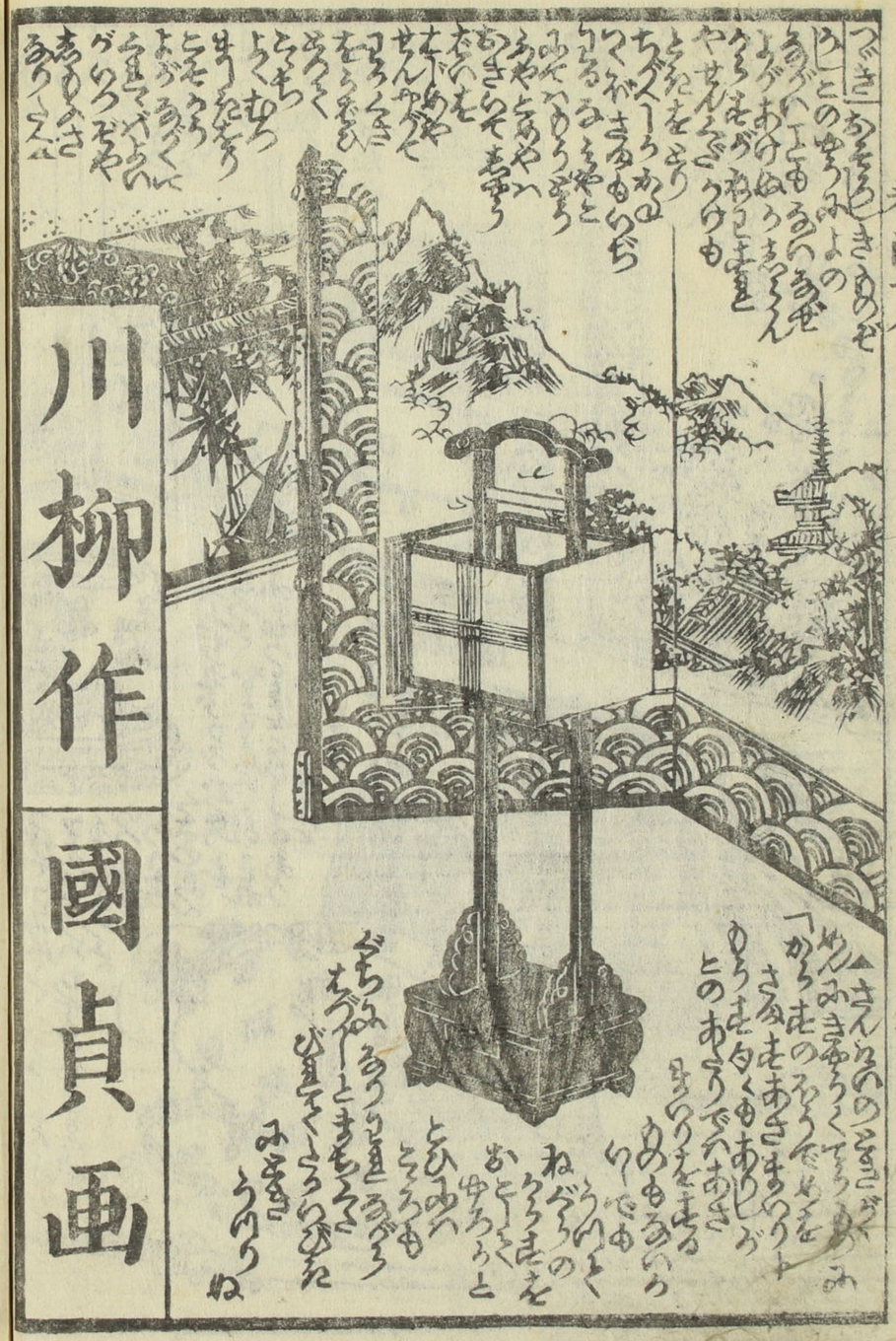
若


利



吉
若
露





遊仙皆春雨山帝　十八編　亭川柳作
十九編　一壽齋國貞画
田舍織糸線狹衣　五編　仝
六編　同　画
政談國盡　初編　仝　作
二編　一雄齋國輝画
月宴更科譚　二編　松園梅彦作
三編　一勇齋國芳画
天神一代記圖會　中本一冊　柳下亭種員著
一勇齋國芳画
容色仙代萩　三編　一笠庵英壽作
一雄齋國輝画

東都書房　馬喰町弐丁目　錦耕堂藏板

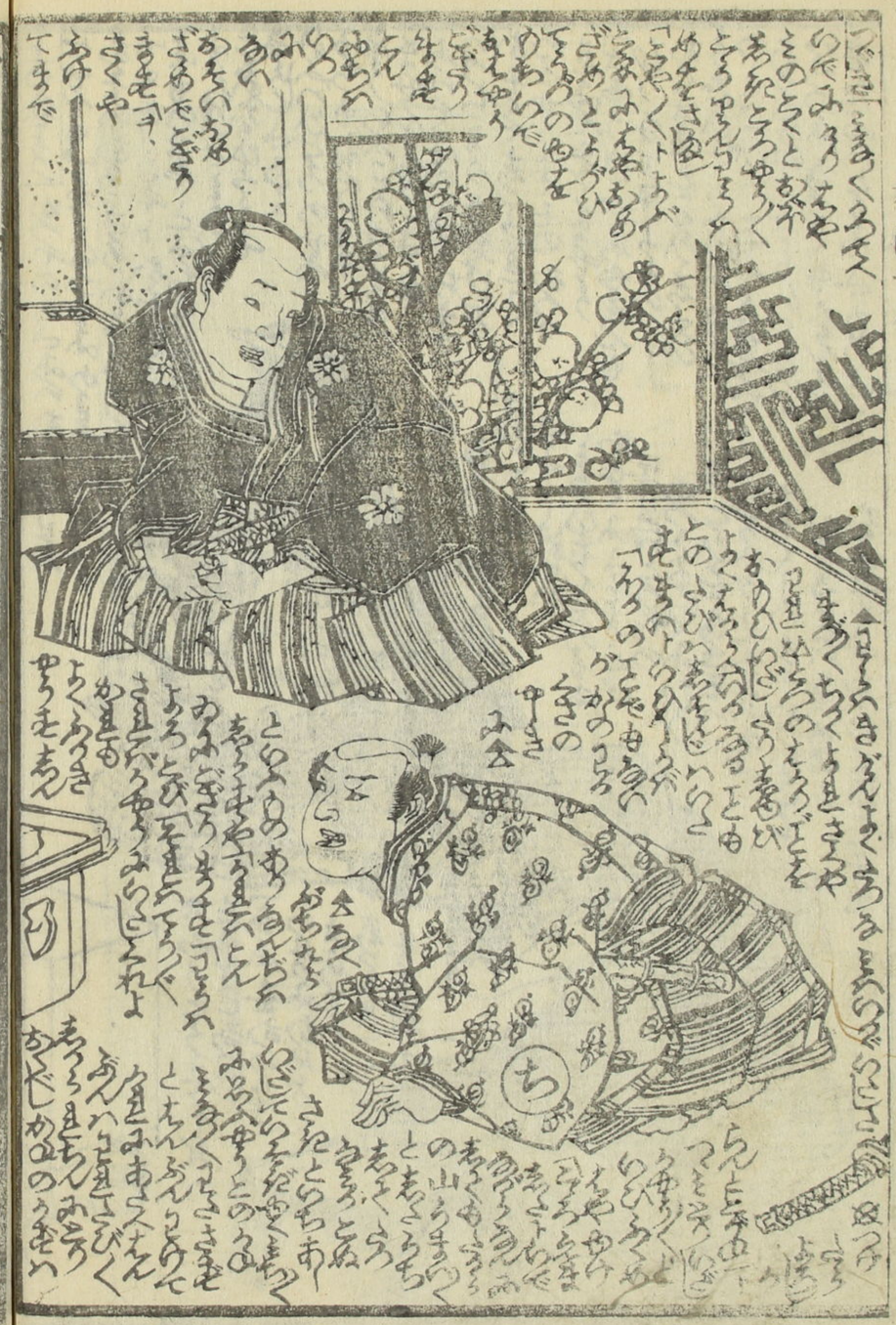
東雨双紙

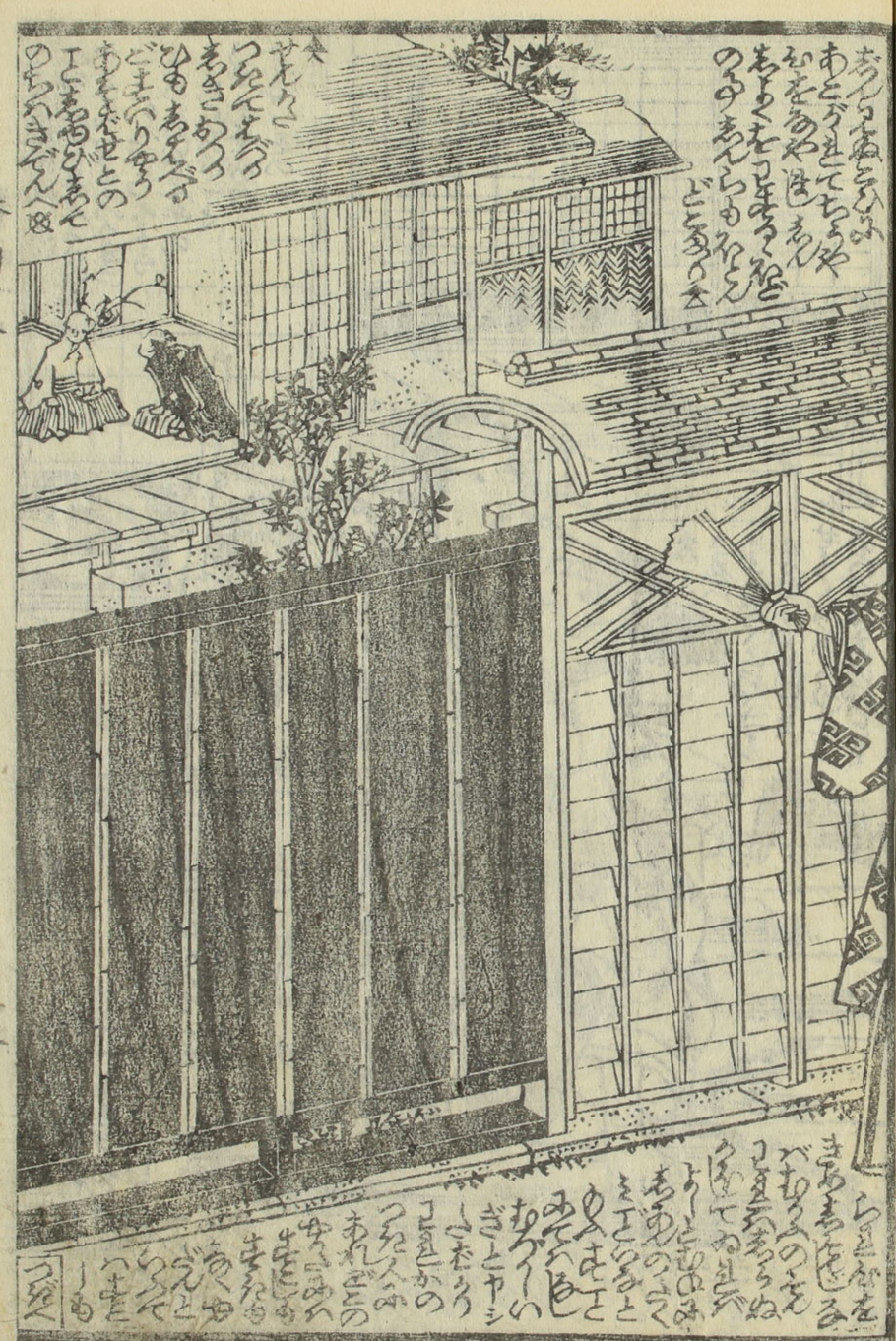
緑亭川柳作

歌川國貞画

十八編下

十八篇
緑亭著作
一壽齋畫
馬喰第二
錦耕堂



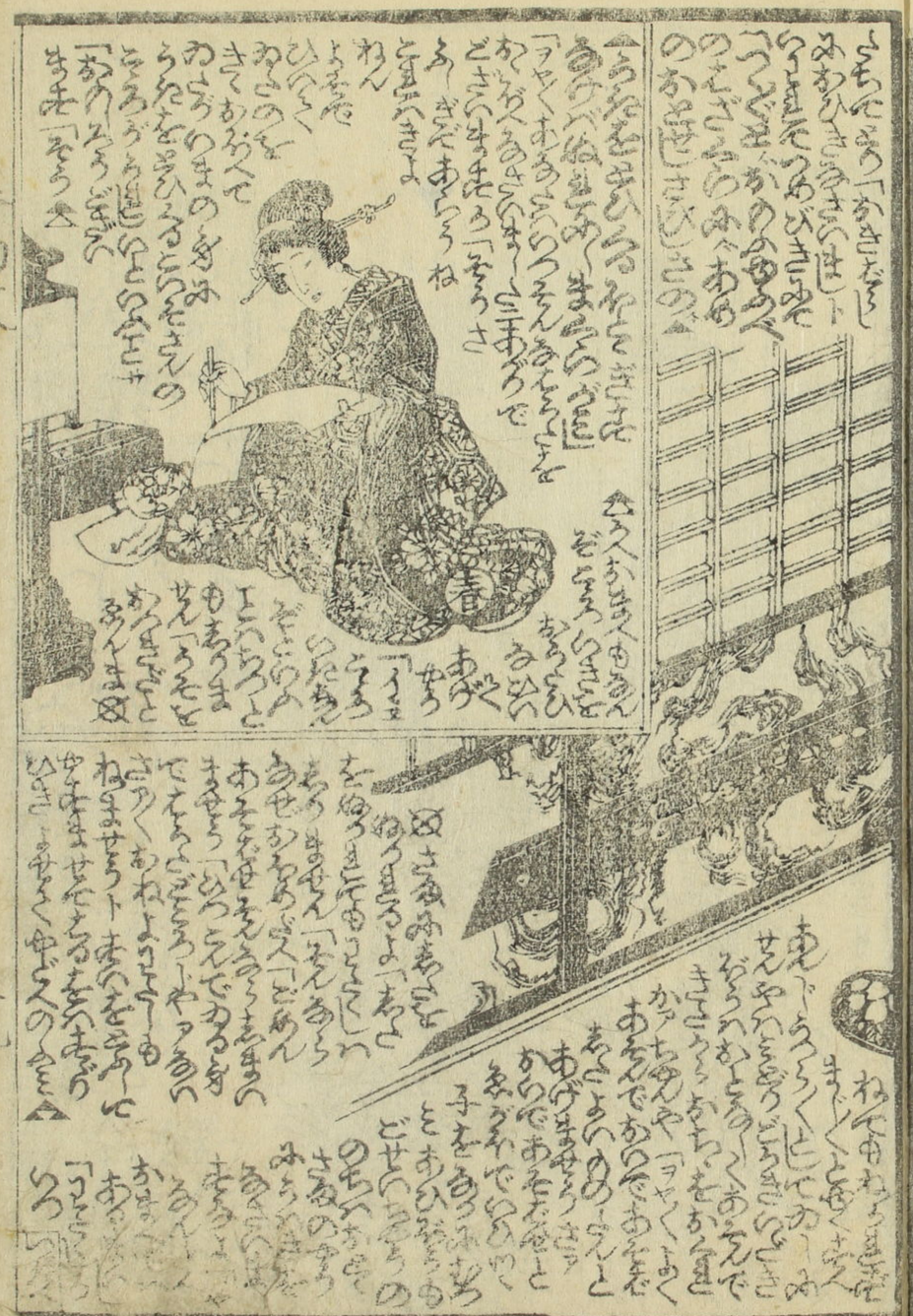


露
若

ム
兵

兵
若

利



六代目川柳作

梅蹄樓國貞画

藏版新刊珍奇雑書略目

陽東太郎後世譚 九編 西馬作 十編 貞秀画

俠銘鑑 三編 西馬作 四編 國輝画 水滸

岸柳四魔談 四編同作 五編國輝画

伊賀越仇討 樂亭西馬作 一鶯齋國周画

勧善懲悪 乘合噺 七編 柳下亭種員作 八編 一壽齋國貞画

詞花萱草紙 初編 墨川亭雪麿作 二編 雄齋國輝画

初昔見聞沙有紙 初編有人作 二編 芳盛画

松園白妙譚 初編 泉成作 二編 國明画

今様八犬傳 七編 春水作 八編 國安画

東都馬喰町三丁目 書物問屋 山口屋藤兵衛

遊仙窟春雨
冊子十八篇
川柳義國畫
山藤文庫